

市民の声（6月分）

意見 3	<p>R3.6.15 他 特別職の新型コロナワクチンの優先接種について 市長ほか市特別職が新型コロナワクチンを優先接種したことに伴い、市民の声が寄せられました。</p> <p>ワクチン接種の順位に関する内容については、担当部長による回答としているところですが、同様の市民の声が複数寄せられたことに鑑み、今回、市長名により回答することとし、併せて回答要旨について公開するものです。</p>
回答	<p>R3.6.30 秘書広報課</p> <p>日頃より市行政に対し、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>この度の私のワクチン接種についてでございますが、5月11日に高齢者施設におけるワクチン接種を実施した際に、ワクチンの余剰が生じました。ワクチンには希釈後6時間という使用期限があり、これを過ぎると廃棄しなければなりません。使用期限内に集団接種会場における運営従事者に対し接種できる見込みがなかったことから、ワクチンを一回分でも無駄にしないという大前提において、市長という職責全うのため、事前に想定できる危機管理を行うという観点から急遽、行ったものです。</p> <p>市長である私には、市政を担う責務がございます。私の数ある施策の中において最も重要としているものは、「市民の安全・安心な生活を守る」ことです。</p> <p>市では、仮に私が病気を理由に職務を遂行できなくなった場合においても、行政を停滞させることがないように、副市長を筆頭とし、各部の長により組織として業務の継続を図るべく日頃より体制を整えているところです。しかしながら、それはあくまでも有事の際の体制であり、本来は避けるべき状況であると考えております。</p> <p>この新型コロナウイルス感染症の感染拡大により「市民の安全・安心な生活」が少なからず脅かされている中、行政として市民の皆様を守るためには、首長が状況を確実に把握し、迅速な判断により対応することが必要不可欠であることから、私が先行して接種を受けるべきであると判断いたしました。</p> <p>また、市民の皆様へのワクチン接種につきましては、予約の電話が繋がらないなどのご不便やご心配をおかけする結果となったことを踏まえまして、電話回線の増設や、インターネットによる予約が難しい方を職員がサポートしながら一緒に予約を行うなどの対応をさせていただきました。その結果、現在では65歳以上の高齢者の約8割以上の方からご予約をいただくとともに、すでに約6割以上の方が1回目の接種を済ませているところです。今後は、64歳以下の方に対しましても、6月29日に接種券を発送し、今後、順次予約を受付ける予定となっております。</p> <p>なお、予約がキャンセルされたなどの理由により余剰となったワクチンについては、過去の緊急事態宣言の際に業務の継続が必要となった職種であるエッセンシャルワーカー等を優先接種対象者として定め対応しております。</p> <p>市といたしましては、一日でも早く希望する方への接種ができ、市民の皆さんが安心して日常生活を送ることができるよう、今後とも全力でワクチン接種事業に取り組んでまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>

